



Beyond SDGs

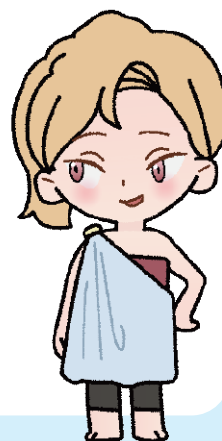
人生ゲーム

ほじょきょうざい
補助教材③
きずな かつようへん
絆カード活用編



もくじ 目次

はじめに	1
「Beyond SDGs人生ゲーム」について	2
本教材について	3
「Beyond SDGs人生ゲーム」の絆カードの解説	4
絆カードの解説ページの見方	5
絆カードの解説	6



はじめに

本教材は、文部科学省が公募する「令和5(2023)年度ユネスコ活動費補助金(SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業)」に採択された「ゲーミフィケーションを活用したSDGs教育に関する学習コミュニティの活性化と若者間での学びあいの機会の創出」で活用する補助教材として作成しました。

この活動は、第1回ジャパンSDGsアワード内閣官房長官賞を受賞した金沢工業大学の「SDGsイノベーション教育カリキュラム」をベースとして開発した、小学生・中学生・高校生向けのSDGsゲーミフィケーション教材を活用できる教員を全国47都道府県で育成することを旨として推進されています。

本教材では、Beyond SDGs人生ゲームの2021年から2030年のゲーム前半に登場する「絆カード」について詳しく説明しています。(ゲーム後半に登場する「革新カード」の説明については、革新カード編をご覧ください。)

Beyond SDGs人生ゲームは、2021年から2030年の前半フェーズ、2031年から2050年までの後半フェーズの2つに分かれています。

ゲーム前半では、プレイヤーたちはSDGsの目標年である2030年までに、協力してSDGsの17個のゴールを集めることを目指します。SDGs達成に貢献する取り組みを行う組織とその取り組み内容が書かれた「絆カード」を手に入れることで、SDGsのゴールを集めていくことができます。「絆カード」に取り上げられている組織は、ジャパンSDGs アワードをはじめ、日本政府などの信頼のおける機関からSDGsの取り組みを表彰された実際の組織です。そして、2030年までに集めたゴールの数によって、ゲーム後半の難易度が変わります。

SDGsは、17のゴールと169のターゲットから構成されており、世界中で多種多様な取り組みが展開されています。日本においても取り組みは加速しており、全国で先進的な取り組みが広がりを見せています。本教材を活用し、「絆カード」に記載されている組織を深く知ることによって、SDGsに貢献している先進的な取り組みや自分たちが目指すべき社会に必要な取り組みを理解することができます。

調べ学習に活用することはもちろんのこと、ぜひSDGsアクションに取り組むためのヒントとしても参考いただけますと幸いです。

「Beyond SDGs人生ゲーム」について



全国の小中高で、主に総合的な学習の時間や金融教育、キャリア教育で活用されています

「Beyond SDGs人生ゲーム」は、金沢工業大学が株式会社タカラトミーと共同開発したゲーミフィケーション教材です。

2030年を目標年としたSDGsの達成と、その先の2050年における「脱炭素社会」「循環型社会」「自然との共存社会」「ウェルビーイング社会」という4つの社会を内包した、理想の未来の実現に関する教育・学習を行うための「人生ゲーム」です。

一般的な「人生ゲーム」とは違い、プレイヤー同士で協力することで理想の未来を目指します。ゲームには、テラくん、りくちゃん、うみちゃん、そらちゃんという4人のキャラクターが登場し、プレイヤーは、このキャラクターたちが持つ、ほかの人を助けることができる特殊能力を活用しながら理想の未来の実現を目指します。

特殊能力はお金を支払うことで使えるようになるため、ここから、稼いだお金を投資することでほかの人を支援し、社会を良くしていくことの重要性を学びます。これからの時代の金融教育の教材としても活用できるでしょう。

このゲームは、総務省、文部科学省などの政府機関や野村総合研究所などの大手シンクタンクの資料を参考に作られているため、将来起こる可能性が高い出来事や、開発がすでに始まっている未来の技術についても学ぶことができます。未来の知識を得ることで、バックカastingを活用し、キャリア教育の充実を図ることができます。さらに、ゲームには、ジャパンSDGsアワード受賞組織など、最先端の組織の取り組みも盛り込まれているため、世の中で実際に行われている優れたSDGsアクションを学ぶことができます。

※「Beyond SDGs人生ゲーム」は、希望する全国の小中高などの教育機関に無償で配布されています。

本教材について

本教材の目的

本教材には、「Beyond SDGs人生ゲーム」に登場する「絆カード」(SDGsの先進的な取り組みが書かれている組織)の説明が1つにまとまっています。

本教材は、「絆カード」に記載されている組織を知り、学びを深めることを目的としています。本教材を活用することで、SDGsに貢献している先進的な取り組みや自分たちが目指すべき社会に必要な取り組みを理解することができます。

補助教材①「授業カリキュラム編」の3時限目では、興味・関心があるSDGsゴールを調べてくるという宿題があります。興味・関心があるSDGsゴールについて、どのような活動が取り組まれているか調べる際に本教材を活用することができます。

まとめ (5分)	学習内容 <ul style="list-style-type: none">●興味・関心があるSDGsのゴール、調べたい内容の決定 学習活動 <ul style="list-style-type: none">●これから調べてみたいSDGsのゴールをワークシートに記入する。(5分) (宿題: 選んだSDGsのゴールについて調べてくる。その際、絆カードを説明している別冊子で、気になるゴールの調べ学習に活用することができる。)	指導上の留意点 <ul style="list-style-type: none">●調べるゴールが決まらない場合は、自分の好きなことに関係しているものを選んでもらうように誘導する。	<ul style="list-style-type: none">●自分が興味関心を持っているSDGsのゴールについて、把握することができたか(ワークシート)
-------------	--	--	--

※詳細は、補助教材①「授業カリキュラム編」P24をご覧ください。

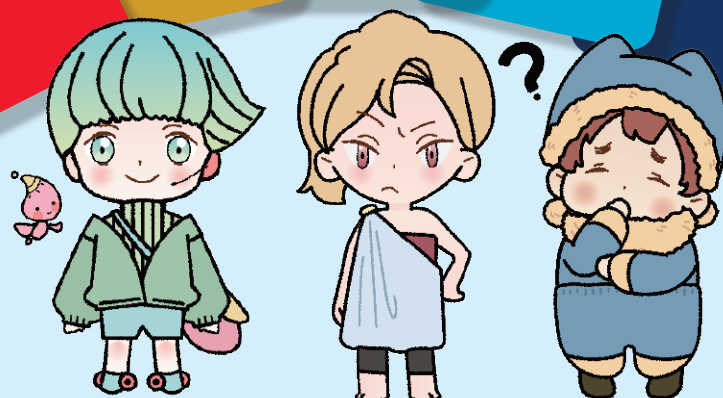
本教材を活用した学習目標

- Beyond SDGs人生ゲームに登場する「絆カード」を理解する。
- 自分の興味・関心のあるSDGsゴールを見つける。
- SDGsアクションを実施する際のヒントにする。

みんなで楽しみながらSDGsについて学ぼう!



「Beyond SDGs人生ゲーム」の 絆カードの解説



ここからは、「Beyond SDGs人生ゲーム」の絆カードに記載された内容を
細かく解説していきます。絆カードに記載されたSDGsに達成に向けて取り
組んでいる先進的な組織やその取り組みを知ることができます。

SDGsアクションを考える際にも使える知識です。

日本全国のSDGsに貢献している取り組みを知って、SDGsアクションを考え
る際のヒントにしてみましょう。



絆カードの解説ページの見方

ここでは、Beyond SDGs 人生ゲームに登場する「絆カード」について詳しく説明しています。絆カードには、SDGs推進本部主催のジャパンSDGsアワード受賞組織に加え、SDGsビジネスアワード受賞組織やイノベーション教育拠点校受賞校など、SDGsの達成に貢献している先進的な取り組みが記載されています。各組織がどのような組織なのか、また、どのような取り組みをしているのかについて詳しく紹介していきます。

The screenshot shows a digital interface for a '絆カード' (Bonds Card) explanation page. The page is titled '絆カードの解説' and features several key sections:

- ① 絆カード画像**: A thumbnail image of the Bonds Card for '株式会社虎屋本舗' (Kabushiki Kaisha Toraya Honpo).
- ② 組織の名前**: The organization's name, '株式会社虎屋本舗'.
- ③ 受賞歴**: The award history, specifically '第2回ジャパンSDGsアワード SDGsパートナーシップ賞(特別賞)' (2nd Japan SDGs Award SDGs Partnership Award (Special Award)).
- ④ 組織・取り組みの詳細**: A QR code linking to the organization's detailed information.
- ⑤ 組織・取り組みの説明**: A detailed text description of the organization's activities and mission.

The detailed text under ⑤ explains that Toraya Honpo is a goal 10-11 organization that has won the SDGs Partnership Award (Special Award) for the 2nd Japan SDGs Award. It highlights their 400-year history in Hiroshima and their commitment to passing on traditional culture through activities like 'Seitohchi and Mochi Kyara Ban'.



●本冊子の内容は、2023年時点の取り組みであり、現在の取り組みと異なっている場合がございます。

絆カードの解説

SR

株式会社虎屋本舗

和菓子を通じて職人文化を継承し、持続可能な瀬戸内ブランドを作る。

年間約2000人に地元生産者など高齢者が菓子教室を開催して文化を継承しています。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

株式会社虎屋本舗



▶受賞歴

第2回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

株式会社虎屋本舗(以下、虎屋本舗)は、ゴール10・11に取り組んでいます。虎屋本舗は、第2回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。2020年には、虎屋本舗ができてから400年が経ちました。広島県にあるこのお店は、子どもたちやおじいちゃん、おばあちゃんたちが昔の文化を次の世代に伝える活動をしています。具体的には、みんなと一緒に和菓子を作りながら、昔の文化を学び、新しい文化をつくることです。虎屋本舗は、新しいことを始めるための考え方として、地域の特徴を活かして新しいお客さんと呼ぶ活動をしています。瀬戸内という場所の島々で、「せとうち和菓子キャラバン」という活動をしています。この活動では、職人さんが島を訪れて、子どもたちとお菓子を作ります。そして、その地域の特徴をお菓子にしてみんなで楽しみます。2017年には、お菓子教室を開いて、約2,000人の人が参加しました。虎屋本舗は、昔からの文化を大切にしながら、新しい文化もつくることで、おじいちゃんやおばあちゃん、子どもたち、お菓子を作る人など、お店と地域が協力して社会に貢献しています。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

R

株式会社大川印刷

気候変動に対する具体的な対策として、持続可能な森林資源の活用と事業における脱炭素。

FSC®森林認証紙を74%使用(2020年度)。再エネ100%、自社印刷事業で排出される140tのCO2を打ち消したCO2ゼロ印刷を展開しています。

株式会社大川印刷



▶受賞歴

第2回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

株式会社大川印刷(以下、大川印刷)は、ゴール7・13に取り組んでいます。大川印刷は、第2回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。大川印刷は、横浜市で印刷の仕事をしています。具体的には、環境に正しい印刷方法を考えています。たとえば、FSC®認証(森林に関する認証)を受けた紙を使ったり、インキに石油系のものを一切使わずに印刷したりする「環境印刷」に取り組んでいます。2019年には太陽光発電や風力発電を使って、工場のエネルギーを再生可能なものに切り替えたことで、工場では100%再生可能エネルギーを使っています。そのほかに「バナナペーパー」というバナナの茎の繊維を使い、和紙の技術で作られた紙も活用しています。捨てられるはずのバナナの茎を有効活用しているため、森林を守りながら、地球に正しい印刷ができています。

SUNSHOW GROUP
SR

サンショウ グループ

課題目標
ダイバーシティの推進。

解決策
外国籍の方のマイホーム取得など、多様な人へのサポートに取り組んでいます。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

SUNSHOW GROUP

[サンショウ グループ]



▶受賞歴

第2回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

SUNSHOW GROUP[サンショウ グループ](以下、SUNSHOW GROUP)は、ゴール5・10に取り組んでいます。第2回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。SUNSHOW GROUPは、家を立てたり、家のまわりをきれいにしたり、古い家を直したりします。この会社の人たちは、みんなに「ありがとう」を感じながら、愛情を持ってものを作ることを大切にしています。特に、「SUNSHOW夢ハウス」というプロジェクトは、お金が少ない家族や、外国から来た家族が、自分たちの家を持つようになるための活動です。この活動をすることで、家族がもっと幸せに暮らせるようになり、また、子どもたちが夢を持って学ぶことができるようになります。さらに、女性ももっと活躍できるように会社の中で「チーム夢子」というグループを作り、会社の中の困りごとを解決しています。このグループでは、子どもの遊ぶスペースを作ったことで、子どもと一緒に会社に行くことができます。また、家族と過ごす時間を大事にしてほしいので、会社を休みたいときに休めるようにしたり、がんばった人をほめたりする仕組みも作っています。

株式会社滋賀銀行
SSR

かぶしきがいしゃし が ぎんこう

課題目標
SDGsに取り組む企業の後押し。

解決策
地方銀行で初めて、SDGsに貢献する事業に対する融資商品の取り扱いを開始しました。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

株式会社滋賀銀行



▶受賞歴

第2回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

株式会社滋賀銀行(以下、滋賀銀行)は、ゴール8・17に取り組んでいます。滋賀銀行は、第2回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。滋賀銀行は、「まちの経済」や「地球の環境」、そして「たくさんの方がいる社会」を大事に考えています。そして、地方銀行として初めてSDGsに貢献するサービスを開始しました。具体的には、地球やまちの問題を解決するような新しい仕事を始める人たちをお金で助けるための新しいプランです。滋賀銀行では、まちの人たちが新しい仕事を始めるときに、お金の面で困らないようにサポートしています。さらに、会社がお金を借りるときに、「SDGs賛同書」というものをもらうプランも作りました。これは、その会社がSDGsの目標を大切にしているかどうかを確かめるためのものです。このプランでは、滋賀銀行は、受け取ったお金の一部を学校や困っている団体などに寄付しています。ほかには、いろいろな仕事をしている人たちがSDGsに取り組めるよう、SDGsをわかりやすく説明したアニメを作って、誰でも見られるようにしています。

SSR
さんようがくえんちゅうがっこうとうこうちれきぶ

山陽学園中学校・高等学校地歴部

12 環境目標
プラスチックゴミや
マイクロプラスチック
などによる海洋汚染。

14 環境目標
中高生が中心となり、地元
の漁師さん等と一緒にゴミの
回収・分析を実施しています。

解決策
分析を実施しています。

組織の名前

組織・取り組み
の詳細

さんようがくえんちゅうがっこう こうとうがっこうちれきぶ
山陽学園中学校・高等学校地歴部



▶ 受賞歴

だい かい
**第2回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)**

組織・取り組みの説明

山陽学園中学校・高等学校地歴部は、ゴール12・14に取り組んでいます。山陽学園
中学校・高等学校地歴部は、第2回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。
山陽学園中学校・高等学校地歴部は、2008年から瀬戸内海の汚れた海をきれいにする活動を始めました。瀬戸内
海は、出入口が閉じたような場所にあり、ごみが外に出にくくなっているため、海の底や島々の辺りにごみがたくさん
集まってしまいます。生徒たちは、船に乗って海の底に沈んでいるごみを拾う活動をしています。船の上で、ごみをきれ
いに分別して、どこから来たのかやいつからあったのかななどを調べます。そして、その情報を新聞やテレビ、会議などで
たくさんの人に伝えています。山陽学園中学校・高等学校地歴部は、近くの人々と一緒に、自分たちの得意なことを活
かして、環境問題について考える活動をしています。そして、環境問題をたくさんの人に伝える活動をしています。

組織の名前

組織・取り組み
の詳細

R
さんかふじんかたてでばり さとうびょういん

産科婦人科館出張 佐藤病院

すべての女性が健やかに輝く未来社会と健康な次世代の創出。

産婦人科を主軸として女性に寄り添い、すべての女性のQOLをサポートしています。

さんかふじんかたてでばり さとうびょういん
産科婦人科館出張 佐藤病院



▶ 受賞歴

だい かい
**第2回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)**

組織・取り組みの説明

産科婦人科館出張 佐藤病院は(以下、佐藤病院)、ゴール3・4に取り組んでいます。
佐藤病院は、第2回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。佐藤病院は、江戸
時代からずっと、女性の健康を守るための病院として活動してきました。佐藤病院は、すべての女性が元気で、次の
世代も健康で生まれてくることを願っています。特に、スポーツをする女性や、これからお母さんになる女性の健康を守
ることに力をいれています。病院の中で、どのように目標を実現するかやSDGsに取り組むときの5つの大切なルールを
決めました。このルールでは、「できるかどうか」よりも、「やったほうが良いこと」を大切に考えます。新しい医療の技術
やもっと良い設備を整えること、病院の人たちが勉強すること、女性の生活をより良くするためのサポートをしていくこ
となどがそのルールに含まれています。このルールをもとに、病院で働くすべての人たちが、近くの地域の人たちや役所
や会社とも協力しながら、次の世代の子どもたちが元気になるような社会をつくることを目指しています。

株式会社フジテレビジョン

コンテンツを通じた社会課題の発信とアクションを起こすきっかけの提供。


SDGsをテーマにしたレギュラー番組でロールモデルを発信しています。

組織の名前 組織・取り組みの詳細

株式会社フジテレビジョン

受賞歴

第2回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)



組織・取り組みの説明

株式会社フジテレビジョン(以下、フジテレビ)は、ゴール4・17に取り組んでいます。フジテレビは、第2回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。フジテレビの大きな目標は、多くの人に大切なことを伝えて、みんなの気持ちや考えを変えることです。テレビは、たくさんの人に情報を届けることが得意です。そこで、フジテレビは、「フューチャーランナーズ〜17の未来〜」という番組を作りました。この番組は、世界を良くするためにがんばっている人たちを紹介しています。この番組は、2018年7月から始まり、今も続いています(2023年9月30日時点)。この番組を通じて、フジテレビは、もっと多くの人に「SDGs」という大切な目標を知ってもらいたいと思っています。そして、みんなにその目標を身近に感じてもらい、行動を起こしてもらいたいと思っています。番組の中では、いろいろな人の考えや立場を紹介しています。その中で、みんなが仲良くし、支えあいながら生活できる社会について伝えています。

魚町商店街振興組合

SDGsが知られていない。既存の活動がSDGs達成に寄与することを周知し、新たな活動を促す。


SDGs宣言を行い、多様なイベントを通してSDGsを知るきっかけ作りとコミュニティ作りに取り組んでいます。

組織の名前 組織・取り組みの詳細

魚町商店街振興組合

受賞歴

第3回ジャパンSDGsアワード
SDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞



組織・取り組みの説明

魚町商店街振興組合(以下、魚町商店街)は、ゴール4・11に取り組んでいます。魚町商店街は、第3回ジャパンSDGsアワードでSDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞を受賞しました。魚町商店街は、日本で初めて「SDGs商店街」になることを決めました。魚町商店街では、「みんなを幸せにする」イベントやお店をたくさんの人たちと一緒に作っています。たとえば、ホームレスの人や身体が不自由な人たちのために役立つ活動や食べ物を無駄にしないための活動をしています。さらに、地元の野菜を使ったお店もあります。そして、太陽光パネルを設置して商店街の電気を使う取り組みやバスや電車などの公共交通機関で来るお客さんを増やす取り組みもしています。古い家や建物をきれいに直して、新しいお店や会社を作ることも考えています。そのほかにも、若い人やお母さんたちが働きやすいように環境の整備もしています。魚町商店街でのがんばりを、動画でも紹介しています。この動画は第1回SDGsクリエイティブアワードでゴールドアワードを受賞しました。また、この商店街でどのようなことをしているのかを見てもらうための見学コースも作り、SDGsに興味がある人たちに伝えています。

SR
九州力作野菜/果物®プロジェクト
イオン九州株式会社/味の素株式会社等

年間600キロリットルの重油の使用によるCO2排出と農業の高付加価値化。

高付加価値な野菜の生産等にアミノ酸副産物をそのまま活用し、乾燥に使用していた年間600キロリットルの重油を削減しました。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

九州力作野菜/果物®プロジェクト
イオン九州株式会社/味の素株式会社等



▶受賞歴

第3回ジャパンSDGsアワード
SDGs副本部長(内閣官房長官)賞

組織・取り組みの説明

九州力作野菜/果物®プロジェクト イオン九州株式会社/味の素株式会社等(以下、九州力作野菜/果物®プロジェクト)は、ゴール2・7に取り組んでいます。九州力作野菜/果物®プロジェクトは、第3回ジャパンSDGsアワードでSDGs副本部長(内閣官房長官)賞を受賞しました。このプロジェクトの取り組みは、地域循環の農業をすることで「化石燃料の使用量とCO₂の排出量削減」につながっています。アミノ酸を製造したときに残る発酵副生バイオマス(残渣)は、これまで化石燃料を使った方法で乾燥し、肥料を作っていました(この方法では、大気中にCO₂が排出されていました)。このことから、発酵副生バイオマス(残渣)の活用をそのまま「たい肥」の材料へ切り替えることで、環境への負荷を減らすことが可能になりました。この方法でできた「たい肥」は、良い土作りに役立ち、元気な野菜・果物を栽培する土台になっています。また、九州力作野菜/果物®プロジェクトの取り組みは、約60の組織が関わり、環境にやさしい栽培でできた農産物の販売を増やすことで、九州の農家を元気にしています。

SR
特定非営利活動法人
TABLE FOR TWO International
[テーブルフォートゥーインターナショナル]

先進国で健康的な食事を推進すると同時に、アフリカ・アジアに給食を届ける。

2007年から14年間で、累計8,400万食の学校給食を子どもたちに届けました。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

特定非営利活動法人
TABLE FOR TWO International
[テーブルフォートゥーインターナショナル]



▶受賞歴

第3回ジャパンSDGsアワード
SDGs副本部長(外務大臣)賞

組織・取り組みの説明

特定非営利活動法人TABLE FOR TWO International[テーブルフォートゥーインターナショナル](以下、TABLE FOR TWO)は、ゴール2・4に取り組んでいます。TABLE FOR TWOは、第3回ジャパンSDGsアワードでSDGs副本部長(外務大臣)賞を受賞しました。TABLE FOR TWOは、日本のおにぎりに着目して世界を良くしようとしました。TABLE FOR TWOの「おにぎりアクション」という活動は、おにぎりの写真をインターネットに投稿すると、アフリカやアジアの子どもたちに給食が送られる仕組みです。1枚の写真で、5食分の給食が子どもたちに届けられます。この給食のお金は、この活動に協力してくれる会社やまちが出してくれています。この方法で、たくさんの方が写真を投稿することで、世界の子どもたちが給食を食べることができ、おなかを空かせることなく、学校にも行けるようになりました。これにより、子どもたちが健康になり、学校への出席率も良くなっています。おにぎりアクションに参加することで、たくさんの方が、世界の問題について考えるようになり、勉強することの大切さを知りました。

SR

株式会社富士メガネ

課題目標

1 海外難民の視力ケア。

2 1人1人に視力検査を実施。

解決策

難民・国内避難民の視力検査を行って、メガネを寄贈しています。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

株式会社富士メガネ



▶受賞歴

第3回ジャパンSDGsアワード
SDGs副本部長(外務大臣)賞

組織・取り組みの説明

株式会社富士メガネ(以下、富士メガネ)は、ゴール1・3に貢献しています。富士メガネは、第3回ジャパンSDGsアワードでSDGs副本部長(外務大臣)賞を受賞しました。富士メガネは、1983年から難民や国内避難民が避難している場所に行き、無料でメガネを届けています。この活動は、遠くの国に行き、一人ひとりの目をチェックし、その人に合うメガネをプレゼントするというものです。これまでに、合計で201人の社員がこの活動に参加して、181,540組の新しいメガネを世界中の難民・国内避難民にプレゼントしてきました(2023年11月時点)。また、2006年には、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)という大きな組織から、ナンセン難民賞(難民を助けた人に送られる賞)をもらいました。そして、UNHCRと一緒に、40年以上も人々を助けてきました。富士メガネのすべてのお店には、募金箱が設置されていて、そのお金は難民の人たちを助けるために使われています。富士メガネでは、遠くの国の人たちを助ける活動をしながら、視力を守るための技術力も高めています。

R

日本リユースシステム株式会社

古着deワクチン

課題目標

3 資源の循環と開発途上国の健康支援。

12 持続可能な消費

解決策

10年間で約30,201,200着分の衣類を再利用し、3,643,890人分のポリオワクチンを寄付しました。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

日本リユースシステム株式会社
古着deワクチン



▶受賞歴

第3回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

日本リユースシステム株式会社(以下、NRS)は、ゴール3・12に取り組んでいます。NRSは、第3回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。NRSは、「捨てさせない屋」として国内外で使わなくなったモノ・コトを世界中で活かすという仕事を行っています。NRSの活動の1つに「古着deワクチン」という活動があります。家や会社にある使っていない服やカバン・靴を集めて、それを売ることで、開発途上国(ミャンマー・ラオス・ブータン・バヌアツ)の子どもたちにポリオワクチンを贈ることができます。この活動は、子どもたちがポリオという病気にならないようにするために行っています。また国内外の障がいのある方の仕事にもつながります。NRSはこの活動を進めるために、たくさんの人や団体とともに取り組んでいます。そして、ポリオの感染症が世界からなくなることを目指してがんばっています。(2023年11月時点)。

N

徳島県上板町立高志小学校

課題・目標

エシカル消費の普及。

12

解決案

地域の生産者などと連携して、エシカル消費について保護者と一緒に勉強できます。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

徳島県上板町立高志小学校



▶受賞歴

第3回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

徳島県上板町立高志小学校(以下、高志小学校)は、ゴール4・12に取り組んでいます。高志小学校は、第3回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。高志小学校の先生や児童たちは、服や食べ物について、大切に使うことを学んでいます。そして、自然や動物、植物の命を大切にすることを一緒に学ぶためのプロジェクトを始めました。学校だけではなく、地域の人たちやお店、団体と一緒に、自然を感じる活動や社会を学ぶ活動をしています。たとえば、地域のおいしい野菜や果物を使って、新しいレシピを考えたり、食べものを無駄にしないように有効活用したりしています。高志小学校では、スーパーなどで売るための大きさや形の基準を満たしていない野菜を集めて、学校の給食に使っています。このような活動を通して、食べものの大切さを学んでいます。また、給食を作るときに、野菜の皮をむかずにそのまま使ったり、野菜の芯も使ったりして、食べものの無駄を減らしています。この工夫で、4ヶ月で約1トンの食品ロスを減らしました。このように、高志小学校では、身近なことから学びながら地域や自然を大切に活動に取り組んでいます。

R

みんな電力

課題・目標

気候変動を解決するために日本の脱炭素化。

7

10

解決案

「顔の見える電力」をコンセプトに再生可能エネルギーを供給する小売り事業を展開しています。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

みんな電力



▶受賞歴

第4回ジャパンSDGsアワード
SDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞

組織・取り組みの説明

みんな電力[株式会社UPDATER](以下、みんな電力)はゴール7・13に取り組んでいます。みんな電力は、第4回ジャパンSDGsアワードでSDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞を受賞しました。みんな電力は、自然の力で作られる電気、つまり「再生可能エネルギー」を届けています。そして技術を活用して、「どこで」「どれだけ」電気が作られて、「誰が」その電気を使っているのかをわかるようにしています。これを「顔の見える電力」と呼んでいます。実際に、青森県の横浜町で風の力で電気を作って、それを神奈川県横浜市にある15の事業者に送っています。「横横プロジェクト」と呼ばれるこのプロジェクトでは、地域の電気を使って、地域を元気にし、自然を守ることを目指しています。みんな電力を提供している株式会社UPDATERは、「顔の見える電力」から「顔の見えるライフスタイル」へと事業の範囲を広げています。電力以外にも、空気や森林、土壌、サステナブルな消費を実現する事業も行っています。さまざまな視点から、持続可能な社会をつくるためのアップデートをしたいと考えています。

ほっかいどう かみ し ほろちよう
北海道上士幌町

目標
人口減少・少子高齢化に歯止めをかけた「未来へつなぐまちづくり」。

解決策
スマートタウンの構築とバイオガス発電による再生可能エネルギーの地産地消に取り組んでいます。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

ほっかいどう かみ し ほろちよう
北海道上士幌町



▶受賞歴

だい かい
第4回ジャパンSDGsアワード
すいしんふくほんぶちよう ないかくかんぼうちようかん しょう
SDGs推進副本部長(内閣官房長官)賞

組織・取り組みの説明

北海道上士幌町(以下、上士幌町)はゴール7・11に取り組んでいます。上士幌町は、第4回ジャパンSDGsアワードでSDGs推進副本部長(内閣官房長官)賞を受賞しました。上士幌町では、牛のうんちとおしっこを肥料にして農業に使ったり、バイオガス発電で作った電気を使ったりして循環型社会や脱炭素社会の実現に貢献しています。食料自給率は約4,200%、バイオガス発電によるエネルギー自給率は約100%(一般家庭、町内主要施設の消費電力想定)であり、たくさんの食べものや電気を自分たちだけで作っています。上士幌町では、酪農家がたくさんの牛を飼っているため、たくさん出るうんちとおしっこをどう処理するかという問題がありました。そこで、そのうんちとおしっこを使って電気を作る「畜産バイオガス発電」に取り組むことにしました。これにより、うんちやおしっこの問題も解決されただけでなく、電気も作ることができるようになりました。このまちでは授業や観光ツアーを通して、どのように電気や食べものを作っているのかを多くの人に伝えていきます。

とくていひ えいり かつどうほうじん
特定非営利活動法人
Support for Woman's Happiness

目標
障がい当事者と少数民族の女性達の雇用を創出。

解決策
国を超えて女性の障がい者の方達が力を合わせた伝統文化を活かしたブランドを生み出しました。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

とくていひ えいり かつどうほうじん
特定非営利活動法人
Support for Woman's Happiness
[サポートフォーウーマンズハピネス]



▶受賞歴

だい かい
第4回ジャパンSDGsアワード
すいしんふくほんぶちよう がいむだいじん しょう
SDGs推進副本部長(外務大臣)賞

組織・取り組みの説明

特定非営利活動法人Support for Woman's Happiness[サポートフォーウーマンズハピネス](以下、Support for Woman's Happiness)は、ゴール5・8に取り組んでいます。Support for Woman's Happinessは、第4回ジャパンSDGsアワードでSDGs推進副本部長(外務大臣)賞を受賞しました。Support for Woman's Happinessの目標は、世界中の女性が自分らしく生きられるように手伝えることです。女性が自分でお金を稼ぐことができるように、仕事の勉強や新しい技術を教えています。特に、ラオスで、身体に障がいを持っている人たちが働ける場所を作りました。この場所で、ラオスの伝統的な布と日本の技術を組みあわせて、品質の高いお土産を作っています。このお土産は、とても人気があり、日本の大きなお店でも売られています。この仕事は女性が中心になっていて女性が活躍できる場所を生み出しています。

とくてい ひ えいり かつどう ほうじん SR
特定非営利活動法人
テラ・ルネッサンス

課題・目標
 地雷、小型武器、子ども兵等の紛争関連課題。

解決策
 元子ども兵への社会復帰支援と日本国内での啓発の両輪で分野を超えた連携を促進しています。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

とくてい ひ えいり かつどう ほうじん
特定非営利活動法人
テラ・ルネッサンス



▶ 受賞歴

だい かい
第4回ジャパンSDGsアワード
SDGs副本部長(外務大臣)賞

組織・取り組みの説明

特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス(以下、テラ・ルネッサンス)は、ゴール1・17に取り組んでいます。テラ・ルネッサンスは、第4回ジャパンSDGsアワードでSDGs副本部長(外務大臣)賞を受賞しました。テラ・ルネッサンスは、アジアやアフリカの国々で、戦争の問題を解決するために活動しています。たとえば、戦争でケガをした人や、戦争に出た子どもたちを助けています。戦争の中で大変な思いをした人たちが、元の生活に戻れるように、さまざまなサポートをしています。それだけでなく、日本にいる私たちに戦争の問題について伝えるため、さまざまな活動をしています。たとえば、「ケータイforコンゴ」という活動があります。この活動では、使われていない携帯電話を集めて得られたお金で、コンゴの戦争で困っている子どもたちを助ける活動をしています。テラ・ルネッサンスは、困っている人たちを助けるために、いろいろな国や人たちと協力して活動をしています。戦争の問題を一人で解決することはできないので、みんなで力をあわせて平和な世界をつくらうとしています。

ながの エスディーエス プロジェクト N
NAGANO SDGs PROJECT

課題・目標
 教育現場を中心にエスディーエスSDGsを踏まえて行動できる人材を長野県から育成。

解決策
 教育現場に対するイベント開催だけでなく、40を超える企業、約60の自治体が協賛・協同しムーブメントを起こしました。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

NAGANO SDGs PROJECT
[ナガノ エスディーエス プロジェクト]



▶ 受賞歴

だい かい
第4回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

NAGANO SDGs PROJECTは、ゴール4・17に取り組んでいます。NAGANO SDGs PROJECTは、第4回ジャパンSDGsアワードで、SDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。「NAGANO SDGs PROJECT」は、SDGsについて知ってもらい、学び、考え、実行してもらうことを活動のテーマとしており、長野県内で「SDGsをふまえて考え、行動できる人材」を育てることを目的としています。私たちの力だけでは足りないため、たくさんの方の企業や団体に協力してもらいながら、子どもたちを対象にしたSDGsの出前授業の開催や、地元の小中学生とのタイアップ企画、子どもたちから大人への提案の募集などさまざまな活動を行っています。子どもたちは活動の中で企業・行政・地域・家庭・世界と関わり、大人たちも巻き込んでいきます。SDGsの波がより大きくなるようにWEBサイトやメールマガジン、新聞広告などの広報にも力を入れています。まずは日常で簡単にできることから少しずつ取り組み、大きな動きにつながるよう信州からアクションを広げていきます。

SR
ふくしま未来農業協同組合
 2 福島の未来
 ひがしに ほんだいにんさい
東日本大震災や
コロナ禍からの復興。
 11 未来の未来
 災害、コロナ禍で困窮した人々
 に対して、食と農を中心とした
 支援を行いました。

組織の名前

組織・取り組み
 の詳細

ふくしま未来農業協同組合



▶受賞歴

第4回ジャパンSDGsアワード
 SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

ふくしま未来農業協同組合は、ゴール2・11に取り組んでいます。ふくしま未来農業協同組合は、第4回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。ふくしま未来農業協同組合は、福島県で起きた大きな災害時にはおにぎりなどを作り、地域住民を助ける活動をしています。2020年には、コロナ禍に直面している福島大学の学生へ地元の農家さんが作ったお米をプレゼントしました。その後、大学生が農家さんを手伝いに行くなどお互い助けあっています。また、この組合の女性部という組織に在籍している人たちは、エコバッグやマスクを作り、地域の子どもやおじいちゃん、おばあちゃんにプレゼントしています。災害やコロナ禍でも、誰一人取り残さず「食」と「農」を軸とした復興活動で福島県の人々を支えています。

SR
株式会社エムアールサポート
 10 未来の未来
 従来危険な道路上で
 行っていた舗装修繕
 工事の安全性向上。
 11 未来の未来
 ICTを用いることで、室内のパン
 コンで工事を行えるようにし、誰
 もが公共工事に携われる環境を
 実現しました。

組織の名前

組織・取り組み
 の詳細

株式会社エムアールサポート



▶受賞歴

第4回ジャパンSDGsアワード
 SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

株式会社エムアールサポート(以下、エムアールサポート)は、ゴール10・11に取り組んでいます。エムアールサポートは、第4回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。エムアールサポートは、道路を修理する仕事をしています。道路修理は危険なことが多いため、みんなが安全に働けるようコンピュータを使った道路修理の方法を考えました。この新しい方法のおかげで、重大事故が減ったことはもちろんのこと、今まで道路修理の仕事ができなかった人たちも、この仕事を始めることができるようになりました。たとえば、未経験者や身体が不自由な人、女性もこの仕事ができるようになりました。エムアールサポートは、コンピュータを活用するだけでなく、いろいろな人が関わる多様な働き場所を作ることで、働く人にとっても使う人にとっても安全な道路を作っています。

阪急阪神ホールディングス株式会社

実質100%再エネで走る列車の実現。

最新の省エネ車両を使用した日本で初めてSDGsをテーマとする列車「SDGsトレイン」を運行しています。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

はんきゅうはんしん かぶしきがいしゃ
阪急阪神ホールディングス株式会社



▶ 受賞歴

だい かい
第4回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

阪急阪神ホールディングス株式会社(以下、阪急阪神ホールディングス)は、ゴール7・11に取り組んでいます。阪急阪神ホールディングスは、第4回ジャパンSDGsアワードで、SDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。阪急阪神ホールディングスグループは、「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」という社会貢献活動に取り組んでいます。目的は、「未来にわたり住みたいまち」をつくることです。その取り組みの1つとして、「SDGsトレイン 未来のゆめ・まち号」という電車を走らせています。この電車は、日本で初めてSDGsをテーマにしたもので、電車の中や外には、SDGsのポスターやステッカーが貼ってあり、みんなに大切なメッセージを伝えています。さらに、この電車は軽い車両や節約するライトを使って環境にやさしい工夫がされているほか、電車を走らせるための電気も太陽や風や水を使って作る環境にやさしい再生可能エネルギーを使っています。ほかの鉄道会社にもSDGsトレインについて呼びかけ、同じような取り組みが広がっています。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

川崎市立平間小学校

自分をつくり私たちのまちや学校をみんなで作ってあげていく。

教育活動をSDGsの視点から捉えて推進し、活動を発信することによって多くのステークホルダーを巻き込んでいます。

かわさきしりつひらましようがっこう
川崎市立平間小学校



▶ 受賞歴

だい かい
第4回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

川崎市立平間小学校(以下、平間小学校)は、ゴール4・17に取り組んでいます。平間小学校は、第4回ジャパンSDGsアワードで、SDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。平間小学校は、子どもたちの自信と、学校や地域への誇りを育むことを目的に「自分をつくり私たちのまちや学校をみんなで作ってあげていく」という合言葉(平間プライド)のもと、SDGsに取り組んでいます。たとえば、子どもたちはお父さんやお母さんと一緒に「多摩川ガタガタ探検隊」という活動を行い、川の水質や歴史を学んでいます。さらに、商店街でお祭りのようなイベントを子どもたちだけで企画して、お金の使い方や経済についても学んでいます。また、「平間SDGsフェス」というイベントを開いて、地域のお店と一緒にSDGsのテレビコマーシャルを作り、学んだことをたくさんの人に伝えています。平間小学校の子どもたちは、学んだことを家族やまちの人と共有して、みんなと一緒にSDGsに取り組んでいます。これらの取り組みは、川崎市だけでなく、日本全国にも伝えられています。

SSR

かぶしきがいしゃ
株式会社キミカ

海藻からしか得られない天然素材(アルギン酸)を海洋環境を犠牲にせずにつくる。

12 2022年
14 2023年

生きて海藻は刈り取らず、拾い集めた漂着海藻を原料として活用しています。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

かぶしきがいしゃ
株式会社キミカ



▶受賞歴

だい かい
第4回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

株式会社キミカ(以下、キミカ)は、ゴール12・14に取り組んでいます。キミカは第4回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。キミカは、日本で初めて海藻の食物繊維「アルギン酸」を製造した会社です。アルギン酸は、食品や医薬品、化粧品などに使われています。アルギン酸は、コンブやワカメなどの海藻から取れるものですが、キミカは生きて海藻を刈り取らずにチリの海辺に漂着した海藻を使ってアルギン酸を作っています。キミカはこの方法によって海藻を守るとともに、チリの漁師の貧困問題も解消しました。海藻は濡れていると湿りやすいので乾燥させる必要があります。キミカは環境を守るため、電気や熱は使わずに、チリの砂漠で天日乾燥しています。アルギン酸を作ったあとに残る海藻には土を良くする効果があるので農家に寄付して収穫量の向上に貢献しています。キミカは、自然と共存した地球にやさしい方法でものづくりをしています。

SSR

かぶしきがいしゃ
株式会社

経済発展=環境保全の実現。

8 2022年
15 2023年

廃棄物から作られた、使えば使うほど環境がよくなる化粧品を作っています。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

かぶしきがいしゃ
フロムファースト株式会社



▶受賞歴

ねん
2017年SDGsビジネスアワード
大賞

組織・取り組みの説明

フロムファースト株式会社(以下、フロムファースト)は、ゴール8・15に取り組んでいます。フロムファーストは、2017年に行われたSDGsビジネスアワードで大賞を受賞しました。フロムファーストは、化粧品やシャンプーなどの日用品を作っている会社です。「100年先も地球で生きていける未来を子どもたちに残す」ことを目標にして、経済が発展すればするほど環境が悪化する今の循環を良い循環に変えられないかと考えました。具体的には、ものを作れば作るほど環境が良くなり、使えば使うほどみんなが健康になる、捨てることで環境に良くなる仕組みです。そこで開発したのが、米ぬかと小麦のふすま(外皮や胚芽など表皮の部分)だけでできた洗顔料やシャンプーです。米ぬかに含まれる微生物の分解力によって汚れを落とします。自然の成分だけなので川や海の水を汚さないし、米ぬかなど、使う原料も廃棄されるようなものをアップサイクルしています。また、地球温暖化や洪水など自然災害の原因となっている森林伐採の問題にも関心を持ち、カンボジアの農村部で植林活動を始めました。植林によって森林が守られ、洪水の抑制につながるだけでなく、製品の原料も収穫できます。環境を守ることと経済的な成長の両立を実現しています。

SR

グリ ケー かぶしきがいしゃ
Dari K株式会社

課題目標

インドネシアの
カカオ豆の価値
が低い。

1 目標を達成
2 目標を達成
3 目標を達成
4 目標を達成

10 目標を達成
11 目標を達成
12 目標を達成
13 目標を達成

解決策

カカオ豆農家に対する栽培方法の
教育と直接取引による買取価格の
向上によって価値の高い美味しい
カカオ豆を生産しています。

組織の名前

組織・取り組み
の詳細

かぶしきがいしゃ
Dari K株式会社
[ダリ ケー]



▶ 受賞歴

2017年SDGsビジネスアワード
エンゲージメント賞

組織・取り組みの説明

Dari K株式会社(以下、Dari K)は、ゴール1・13に取り組んでいます。Dari Kは、2017年に行われたSDGsビジネスアワードでエンゲージメント賞を受賞しました。Dari Kは、チョコレートを作って販売しています。チョコレートの原料となるカカオ豆は、ガーナなどアフリカの国々が主な生産地ですが、実はインドネシアでもカカオがたくさん作られています。インドネシアのカカオを使うことができれば、日本からは遠いアフリカまで買いに行かなくて済み、船で輸入する際に発生するCO₂の削減にもつながります。そこで、インドネシアのカカオ農家にカカオの栽培方法を指導して品質の高いカカオが作れるようにし、市場より高い価格で買い取る仕組みを作りました。それによって、カカオ農家の人が収入を得られるようになりました。また、一部のチョコレートのパッケージには、カカオ豆からチョコレートを製造する過程で生じるカカオハスク(カカオ豆の薄皮)を使用しています。普通は捨てられてしまうカカオハスクに、チョコレートのパッケージとして新たな価値を与え、アップサイクルを実現しています。

組織の名前

組織・取り組み
の詳細

SR

かぶしきがいしゃ
株式会社すららネット

課題目標

がくりよく、しよく、ちいき
学力や所得、地域
などによる教育格差。

1 目標を達成
2 目標を達成
3 目標を達成
4 目標を達成

10 目標を達成
11 目標を達成
12 目標を達成
13 目標を達成

解決策

たのしみながら学ぶことができる
対話型アニメーション教材など
を日本から世界の43万人に展開
しています。(2021年12月時点)

かぶしきがいしゃ
株式会社すららネット



▶ 受賞歴

2017年SDGsビジネスアワード
スケールアウト賞

組織・取り組みの説明

株式会社すららネット(以下、すららネット)は、ゴール1・4に取り組んでいます。すららネットは、2017年に行われたSDGsビジネスアワードでスケールアウト賞を受賞しました。すららネットは、子どもたちのために「すらら」というデジタル学習ツールを作っています。特に「Surala Ninja!」は海外の子どもたちがたのしみながら学べるように作られています。この学習ツールは、インターネットとパソコンやタブレットがあればいつでも、どこでも、誰でも使えるようになっているため、たくさん子どもたちが学習に使っています。海外では、現地の女性たちを先生役になれるようトレーニングし、女性がいきいきと働く場所を作っています。そして、2020年、新型コロナウイルスが広がって、学校が休みになったとき、すららネットはすぐに学習ツールを無料で提供して、たくさん子どもたちの学習をサポートしました。こうした動きにより、日本の学び方が少しずつ変化し、すららネットのツールもより多くの人に使われるようになりました。

R

かぶしきがいしゃ
株式会社エコシステム

課題・目標
全国で100万トン近く埋め立てられている瓦の処理。

12 2030年までに
10 2030年までに
瓦リサイクルし、道路や道の舗装材として使うだけでなく、保水性などの特性を活かし、涼しい街をつくることができます。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

かぶしきがいしゃ
株式会社エコシステム



▶受賞歴

2018年SDGsビジネスコンテスト
最優秀賞

組織・取り組みの説明

株式会社エコシステム(以下、エコシステム)は、ゴール12・13に取り組んでいます。エコシステムは、2018年に行われたSDGsビジネスコンテストで最優秀賞を受賞しました。エコシステムは古くなった瓦をリサイクルして、歩道や広場、公園などの路面に使われる舗装材を作っています。この新しい舗装材は、水を通したり、水をためたりすることができます。夏になると、まちが暑くなったり、大雨でまちが洪水になったりすることがあります。この舗装材によってできた路面は、暑さや洪水の問題を軽減することができます。そして、エコシステムには「K-ブランド会」という大きなネットワークがあり、日本全国の会社と一緒に、この技術を広めています。これからの時代、たくさんのまちにこの新しい舗装材を使っていくことができます。それぞれのまちの会社がこの技術を持っていれば、瓦のリサイクルをしながら暑さや雨に強いまちをつくることができ、さらに、まちを作ることを通して会社も成長することができます。エコシステムは、まちを守ることと地域の会社を応援することの両立を目指しています。

SSR

ほっかいどうしもかわちょう やくば
北海道下川町(役場)

課題・目標
少子高齢化が進んでおり、高齢化率が39%。

12 2030年までに
15 2030年までに
持続可能な地域にするために、森林資源の循環活用をしています。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

ほっかいどうしもかわちょう やくば
北海道下川町(役場)



▶受賞歴

第1回ジャパンSDGsアワード
SDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞

組織・取り組みの説明

北海道下川町(以下、下川町)は、ゴール12・15に取り組んでいます。下川町は、第1回ジャパンSDGsアワードでSDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞を受賞しました。下川町は、人口約3,000人で高齢者の割合は全体の約40%です。5人に2人が高齢者であり、また、生まれてくる子どもが少くないため、少子高齢化が進んでいます。このまちを持続可能なまちにしようと、下川町では「森林を中心とした産業の仕組みを作る」、「地域のエネルギーを自分たちで作る、低炭素社会」「お年寄りが暮らしやすいまちづくり」を目指しています。下川町には豊かな森林資源があります。この森を守るために、森の手入れをすることで循環型の森林管理を行っています。そして、木材、木製品を生産し、生産の過程で出た木くずは、バイオマスエネルギーとして利用しています。これによって、地域のエネルギー自給率が9%(2010年)から56%(2019年)まで向上し、CO₂排出量も地域全体で20%削減することができました。また、下川町では、幼児から高校生に対し、森林環境教育を行っています。子どもの頃から森に親しみ、森に関する仕事について知ることで、将来は持続可能な社会のために自ら行動できる人づくりを目指しています。

サライヤ株式会社

ウガンダでは、1000人あたり89人(2009年当時)の5歳未満児が死亡し、その多くは正しい手洗いで予防可能。

ウガンダのユニセフ手洗い普及活動支援を2010年に開始しました。

組織の名前

サライヤ株式会社

組織・取り組みの詳細

受賞歴

第1回ジャパンSDGsアワード
SDGs副本部長(外務大臣)賞

組織・取り組みの説明

サライヤ株式会社(以下、サライヤ)は、ゴール3・12に取り組んでいます。サライヤは第1回ジャパンSDGsアワードでSDGs副本部長(外務大臣)賞を受賞しました。サライヤは、日本で初めて薬用手洗い石けん液と石けん液容器を開発した会社です。昔は日本でも、伝染病で亡くなる人がたくさんいましたが、サライヤの液体石けんで手を洗うことによって感染症を予防し、多くの人の命が救われました。しかし、開発途上国では今でも多くの子どもが伝染病などで亡くなっています。サライヤは、国連のユニセフと協力して、2010年に「100万人の手洗いプロジェクト」をスタートしました。日本国内で販売するハンドソープやアルコール手指消毒剤の売り上げの1%を寄付し、ユニセフがアフリカ・ウガンダで行っている手洗い促進活動を支援することにしました。その後、サライヤは現地にサライヤ・イースト・アフリカという会社を設立し、ウガンダの医療現場で院内感染を予防するアルコール手指消毒剤を現地で生産できるようになりました。2020年にはウガンダの新型コロナウイルス感染症対策のために生産し、ウガンダの人たちがアルコール手指消毒剤のことをサライヤと呼ぶくらい普及が進みました。

住友化学株式会社

環境に優しい製品・技術を開発し、世の中に広める。

住友化学グループの製品・技術が環境に優しいことを確かめ、広く知ってもらい取り組みを進めています。

組織の名前

住友化学株式会社

組織・取り組みの詳細

受賞歴

第1回ジャパンSDGsアワード
SDGs副本部長(外務大臣)賞

組織・取り組みの説明

住友化学株式会社(以下、住友化学)は、ゴール12・13に取り組んでいます。住友化学は、第1回ジャパンSDGsアワードでSDGs推進副本部長(外務大臣)賞を受賞しました。住友化学は、「化学の力」を使って、自動車や航空機、テレビ、スマートフォン、衣類など、身のまわりのあらゆる製品に欠かせない素材を世の中に届けることで、みんなの豊かな暮らしを支えている化学メーカーです。住友化学では、「SSS(Sumika Sustainable Solutions)」という活動をしています。「SSS」は気候変動への対応や環境負荷の低減などの分野で貢献する製品・技術を自社で認定し、その開発や普及を促進する取り組みです。認定事例の1つに「耐熱セパレータ」という製品があります。環境にやさしい電気自動車には、充電をしてくり返し使えるリチウムイオン二次電池が使われています。住友化学ではリチウムイオン二次電池をより安全に安心して使えるように、正極と負極を隔てる部材「耐熱セパレータ」を開発し提供しています。このように住友化学は、製品を通じて安全で長距離走行が可能な電気自動車の普及を後押しするとともに、電気自動車がガソリン車と比較して温室効果ガス(GHG)を大幅に削減できることで、気候変動などの社会課題の解決に貢献しています。

SR

かぶしきがいしゃいとうえん

株式会社伊藤園

原料調達を通じて、耕作放棄地の有効活用と農業振興に貢献する。

茶産地育成事業により農家の安定経営と、高品質原料の安定調達を実現しました。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

かぶしきがいしゃいとうえん

株式会社伊藤園



▶ 受賞歴

第1回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

株式会社伊藤園(以下、伊藤園)は、ゴール2・12に取り組んでいます。伊藤園は、第1回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。伊藤園は、伊藤園が作る製品を通じてすべての人が健康で豊かな生活を送り、持続可能な社会を実現することを目指しています。そして、お〜いお茶などの製品の材料となるお茶の畑から、お茶を淹れるときに出る茶殻、お茶を飲み終わった後の容器まで、それぞれの段階でSDGsに関連した取り組みを行っています。畑の取り組みでは、茶農家から茶葉をすべて買い取る契約栽培や荒れ果てた土地などを茶園にしたりする「茶産地育成事業」を通じて、日本の農業を活性化しています。また、紙やプラスチックの代わりに、お茶を作るときに出る茶殻の一部を使って製品を作る「茶殻リサイクルシステム」にも取り組んでいます。そのほか、自動販売機の横に回収BOXを置いて、使用済みのペットボトルを回収し、もう一度ペットボトルを作る水平リサイクルに取り組むことで、限りある資源を有効に活用しています。教育面では、お茶と言葉の力で日本文化を伝える「伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」を開催し、これまでに約2,000句がお茶のパッケージで紹介されました。これは、多くの小学校の授業でも取り入れられています。

N

こくりつだいがくほうじんおかやまだいがく

国立大学法人岡山大学

地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学。

世界や地域とパートナーシップを強化し、地域と地球の「ありたい未来」を共創していきます。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

こくりつだいがくほうじんおかやまだいがく

国立大学法人岡山大学



▶ 受賞歴

第1回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

国立大学法人岡山大学(以下、岡山大学)は、ゴール4・17に取り組んでいます。岡山大学は、第1回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。岡山大学は、大学での学びや人と人とのつながりを大切にしています。SDGsを解決するために大切なことを学び、多くの人たちとパートナーシップを結んで研究活動やグローバル人材の育成に取り組んでいます。岡山大学は、10年以上前から、世界の平和や環境を守るための活動に取り組んできました。2022年からは、SDGsの達成と大学の運営を合わせた活動を始めました。たとえば、どのように世界の問題を解決できるかを考えたり、さまざまな活動をまとめた事例集を作ったりしています。岡山大学には、医療や健康、まちづくりの学部など、すべての学部が力をあわせて、SDGsに取り組んでいます。そして、2019年からは、「岡山大学SDGsアンバサダー制度」を作り、学校の中や学校の外の人たちとともにSDGsの活動を進めています。

SR

公益財団法人ジョイセフ

世界中で「格差」により
脅かされている全ての
女性の健康と命を守る。

家族計画・妊産婦ケアの情報やサー
ビス提供、性と生殖に関する健康
と権利に関する正しい知識の普及、
ジェンダー平等推進をしています。

組織の名前

組織・取り組み
の詳細

公益財団法人ジョイセフ



▶受賞歴

第1回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

公益財団法人ジョイセフ(以下、ジョイセフ)は、ゴール3・5に取り組んでいます。ジョイセフは、第1回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。ジョイセフが目指すのは、国際機関や国の政府や住民と協力して活動し、「赤ちゃんを迎える人生も迎えない人生もどちらも守られる世界、そのための情報やサービスが誰でも手に入り、健康に過ごせる世界。そして誰を好きになっても祝福される世界」です。たとえば、アフリカのザンビアでは、女性が安全に赤ちゃんを産むための支援活動を行っています。自宅ではなく、医者や看護師に守られながら赤ちゃんや女性が元気に出産を迎えられるよう手伝うのです。多くの村はお産ができる施設から遠く離れていて、間にあわないことも…。手遅れになる前に、お産の前から待機できる宿泊所を建設しています。みんなが安心して利用できる病院にするために、看護師の研修をしたり、若者同士の学びの場を作って大人になる前に妊娠しないよう支援しています。またアフガニスタンの子どもたちに、学び続けることで自分らしい人生を守ってほしいという思いを込めて、使い終わったランドセルを送る活動を行うなど、世界の人々が「自分らしい人生」を生きられるよう活動しています。

組織の名前

組織・取り組み
の詳細

R

北九州市(市役所)

真の豊かさにあふれ、
世界に貢献し、
信頼される
グリーン成長都市。

持続可能な開発のための教育
や市民活動の推進、次世代エ
ルギーの拠点化、環境国際協力
を進めています。

北九州市(市役所)



▶受賞歴

第1回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

北九州市役所(以下、北九州市)は、ゴール7・11に取り組んでいます。北九州市は、第1回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。北九州市は、ものづくりのまちとして日本の産業を引っ張っていく一方で、深刻な公害を経験するなど、さまざまな社会課題に直面してきましたが、その度に、市民や企業、行政などが協力しあって乗り越えてきました。この姿勢は、現在も変わりなく続いています。こうした歴史や姿勢が、北九州市がSDGs達成に向けて取り組む土台となっていて、その取り組みは、第1回ジャパンSDGsアワードでの「SDGsパートナーシップ賞(特別賞)」の受賞や、OECDによるアジア地域で初めての「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」への選定、国内最初となる「SDGs未来都市」および「自治体SDGsモデル事業」への選定など、国内外から高く評価されています。こうした取り組みをさらに進めていくために、「北九州SDGsクラブ」などの、市民や企業、団体、学校といったさまざまな人々が集まる組織を作って、たくさんの人たちと一緒に考えたり、話しあったりしています。これからも、パートナーシップを大切に、より良いまちづくりを目指します。

UR

かなざわこうぎょうだいがく
金沢工業大学

SDGsに貢献する
次世代リーダーの
育成。

国連・各国政府・企業・自治体
・地域住民と連携し、教職員と
学生が一体となり課題解決型
教育・研究を行っています。

組織の名前

組織・取り組み
の詳細

かなざわこうぎょうだいがく
金沢工業大学



▶受賞歴

第1回ジャパンSDGsアワード
SDGs副本部長(内閣官房長官)賞

組織・取り組みの説明

金沢工業大学は、ゴール4に取り組んでいます。金沢工業大学は、第1回ジャパンSDGsアワードでSDGs副本部長(内閣官房長官)賞を受賞しました。金沢工業大学では、SDGsの達成に向けてすべての学部学科でSDGsの学びや研究に力を入れています。さらに、SDGsを専門的に勉強できる授業のコースがあります。金沢工業大学は、3つのキャンパス(扇が丘、白山麓、虎ノ門)にSDGsを推進する場所を作っていて、誰一人取り残さないための学ぶ環境が整っています。特に、近くのみちと協力して、先生と学生が一体となってまちが抱える問題の解決を目指しています。また、近くのみちの身近な問題だけでなく、海外の問題解決にも取り組んでいます。たとえば、障がい者スポーツ支援のために機械・装置を開発したり、電気がない村に電気を届けたりするなど、豊かな生活を送ることができるよう、取り組みを進めています。

SR

かぶしきがいしゃ
株式会社

日本フードエコロジーセンター

食品廃棄をなくし、
循環型社会を
実現する。

事業活動などで発生した1日あたり
35tの食品廃棄物を受け入れ、
食品廃棄物から1日あたり40tの
飼料を製造しています。

組織の名前

組織・取り組み
の詳細

かぶしきがいしゃ
株式会社

日本フードエコロジーセンター



▶受賞歴

第2回ジャパンSDGsアワード
SDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞

組織・取り組みの説明

株式会社日本フードエコロジーセンター(以下、フードエコロジーセンター)は、ゴール2・12に取り組んでいます。フードエコロジーセンターは第2回ジャパンSDGsアワードでSDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞を受賞しました。フードエコロジーセンターは、『食品ロスに新たな価値をつけよう』という考えを大切にしており、学校や政府の人たちと一緒に、余ってしまった食べものを原料にして動物(豚)のエサを作り出す方法を開発しました。これによりごみとして燃やされてしまう食べものの量が減り、できあがるエサも安全で栄養のあるものになります。このエサは各地の農家さんに届けられ、そこで育った豚はブランド豚として多くの人に知られています。豚を育てる人たちやスーパー、私たち消費者など、多くの人を巻き込むことで循環型社会に貢献しています。そのほかにもフードエコロジーセンターは、多くの人に工場を見てもらったり、いろいろな場所でお話をしたりして、日本だけでなく世界の人たちにも食べものごみ問題を伝えていきます。

生協(コープ)

持続可能な社会に対する理解を促進し、自らの消費行動やくらしの在り方を見直していく。

地域、環境、社会、人々に配慮した商品を開発し販売するとともに、こうした商品の利用を組合員に促しています。

組織の名前

にほんせいいかつきょうどうくみあいれんごうかい
日本生活協同組合連合会
〈絆カード表記名:生協(コープ)〉

組織・取り組みの詳細



▶受賞歴

だいにかい
第2回ジャパンSDGsアワード
SDGs副本部長(内閣官房長官)賞

組織・取り組みの説明

にほんせいいかつきょうどうくみあいれんごうかい(以下、日本生協連)は、ゴール11・12に取り組んでいます。日本生協連は、第2回ジャパンSDGsアワードでSDGs副本部長(内閣官房長官)賞を受賞しました。日本生協連は、「すべての人々が人間らしく生きられる豊かな地球」を未来のこどもたちへ残したいと考えています。そのため、2018年に「コープSDGs行動宣言」という約束をつくりました。その約束に基づいて、さまざまな活動をしています。たとえば、消費者がエシカル消費(地球環境や社会に良い買いもの)をできるように、サステナブルな主原料を使用した「コープサステナブル」という商品シリーズを作ったり、対象商品を買うと売上金の一部が飢餓に苦しむ子どもたちの支援などに寄付される「寄付付き商品」の取り組みをしています。ほかにも、日本全国にある日本生協連が力をあわせて、温室効果ガスやプラスチック使用量、食品ロスの削減など、SDGsの実現に近づけるように取り組んでいます。

鹿児島県大崎町

地域住民にリサイクルの考え方を浸透させる。

27品目別の行政・企業・住民協働型のリサイクル事業を行いました。

組織の名前

かごしまけんおおさきちょう
鹿児島県大崎町

組織・取り組みの詳細



▶受賞歴

だいにかい
第2回ジャパンSDGsアワード
SDGs副本部長(内閣官房長官)賞

組織・取り組みの説明

鹿児島県大崎町(以下、大崎町)は、ゴール12・17に取り組んでいます。大崎町は、第2回ジャパンSDGsアワードでSDGs副本部長(内閣官房長官)賞を受賞しました。大崎町は、「SDGs未来都市」として選ばれている地域の1つです。このまちにはごみを燃やして処分する施設がないため、ごみは土の中に埋めて処理していました。しかし、その方法では限界があるため、きちんとした分別による新しいシステム「大崎リサイクルシステム」を作りました。住んでいる人たちが会社、そしてまちの人たちがみんなで協力してごみの分別に取り組んでいます。そのおかげで、まちのリサイクル率は80%を超えています。そして、リサイクルで得られたお金で学生たちの勉強を応援しています。リサイクル率12年連続含む14回日本1位となった大崎町は、ほかの会社と協力してSDGsの目標を達成できるように、分別しやすい商品づくりに取り組んだり、研究をしたりしています。また、このリサイクル方法をインドネシアの各地域で伝えることで、国際協力にも力を入れています。

SR

**一般社団法人
ラ・バルカグループ**

課題目標
障がい者雇用と地域
活性化を解決する。

解決策
多様な人々が働けるチョコ
レートブランドを全国展開し、
現在約550名以上の多様な
人々が働いています。

組織の名前

組織・取り組み
の詳細

一般社団法人ラ・バルカグループ



▶受賞歴

第2回ジャパンSDGsアワード
SDGs副本部長(内閣官房長官)賞

組織・取り組みの説明

一般社団法人ラ・バルカグループ(以下、ラ・バルカグループ)は、ゴール8・10に取り組んでいます。ラ・バルカグループは、第2回ジャパンSDGsアワードでSDGs副本部長(内閣官房長官)賞を受賞しました。ラ・バルカグループは、障がいを持つ人や引きこもり、そして障がいを持つ子どもや子育て中のお母さんなど、さまざまな背景の人たちが一緒に働ける場所を作りたいと考えています。そこで、チョコレートブランド「久遠チョコレート」を作って、日本全国で製造販売しています。新しい商品を開発するときも仕事を簡単に分散化することで、みんなと一緒に働けるように工夫しています。そして、できたチョコレートを売るときには、ショコラティエにアドバイスをもらったり、大きなお店と一緒に協力したりして、おいしいチョコレートをたくさんの人に知ってもらえるように取り組んでいます。また、ラ・バルカグループは、障がいを持っている人たちが働くことをサポートする団体を助けたり、障がい者ショコラティエを育成したりしています。お店を開く方法やチョコレートを売る方法を教えて、多くの人がチョコレート作りの楽しさや働く喜びを感じられるようにしています。

N

大牟田市教育委員会

課題目標
ESD達成に向けた
ESDの推進。

解決策
大牟田市版SDGsを作成し
自分で課題を見つけ、考えて
行動する学びを展開しています。

組織の名前

組織・取り組み
の詳細

大牟田市教育委員会



▶受賞歴

第3回ジャパンSDGsアワード
SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

組織・取り組みの説明

大牟田市教育委員会(以下、大牟田市)は、ゴール4・17に取り組んでいます。大牟田市は、第3回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。大牟田市は、「大牟田市版SDGs」を作って、まちの人たちや学校の先生、市の職員に広め、みんなでこの目標を進めようとしています。また、ユネスコスクールや団体、会社と協力して勉強会や発表会、イベントを開いてみんなに大牟田市の取り組みを伝えていきます。「大牟田市版SDGs」の中で、特に大切にしているのは、ゴール4と17です。ゴール4では、まちづくりや環境問題についての学習を進めています。ゴール17では、ほかの地域のいろいろな人や場所と連携して活動しています。大牟田市の公立小学校や中学校、特別支援学校がユネスコスクールに一齐に加入してSDGsに向けて一緒に学んでいます。それぞれの学校で、子どもたちは自分たちの住んでいる地域の問題を見つけて、それについて考え、自分たちで解決のために行動しています。

R
 からしきが いしや だい わ ぎんこう
株式会社大和ネクスト銀行


課題・目標
 こ 子どもの医療支援・
 いりようし えん 自立支援などに取り
 しりつし えん 組む団体の支援。

解決策
 ちくひよう ぎんこう 目標に賛同されたお客さまが
 あず い 預け入れされた定期預金を
 し えんだんたい きふ 通じて支援団体に寄付しています。

組織の名前 組織・取り組みの詳細

かぶしきが いしや だい わ ぎんこう
株式会社大和ネクスト銀行

▶受賞歴
 だい かい 第3回ジャパンSDGsアワード
 しょう とくべつしょう SDGsパートナーシップ賞(特別賞)



組織・取り組みの説明

株式会社大和ネクスト銀行(以下、大和ネクスト銀行)は、ゴール3・4に取り組んでいます。大和ネクスト銀行は、第3回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。大和ネクスト銀行の「応援定期預金」は、がんばる人や団体に励ましの気持ちとして寄付金を届ける定期預金です。預けたお金の一定割合を大和ネクスト銀行が応援先に寄付するため、預金で気軽に社会貢献ができる仕組みです。応援先は、「子どもの病気の治療」や「子どもの自立をサポート」などのテーマから選ぶことができ、関連する団体に寄付されます。この「応援定期預金」は2017年11月から始まり、これまでにたくさんの人や企業が取り組みに賛同し、今では約1,500億円ものお金が預けられ、応援先への累計寄付額は約8,000万円になっています。(2023年3月時点)

N
 そらのまちほいくえん


課題・目標
 こ 子どもと地域の
 かんけいせい の関係性の再構築と
 しょうてんが い 商店街の活性化。

解決策
 まち いちいん 街の一員として子どもが育つ
 かんきょう 環境が、保育園を起点
 として商店街が活性化
 されました。

組織の名前 組織・取り組みの詳細

そらのまちほいくえん

▶受賞歴
 だい かい 第3回ジャパンSDGsアワード
 しょう とくべつしょう SDGsパートナーシップ賞(特別賞)



組織・取り組みの説明

そらのまちほいくえんは、ゴール4・11に取り組んでいます。そらのまちほいくえんは、第3回ジャパンSDGsアワードでSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。そらのまちほいくえんは、未来のことを人任せにせず、自分のことだと考える力を育てている保育園です。商店街の空きビルをきれいにし、ごはんを売る店と保育園を作りました。これにより、子どもを持つ家族がこの商店街にたくさん来るようになり、新しいお店も増えました。また、ビルの3階には、地域の人たちが集まることができる場所があり、さまざまな活動や楽しいイベントを開催しています。保育園の子どもたちや先生たちは、近所の人たちとも交流しているので、何か大変なことがあったときには、みんなで助けあうことができます。また、聴導犬と耳が聞こえない人を招待し、SDGsパネルを使ってSDGsの知ってもらう取り組みを行っています。そらのまちほいくえんは、子どもたちだけでなく大人も一緒に、より良いまちにするために活動しています。

R
とちぎけんりつなすたくようこうとうがっこう
栃木県立那須拓陽高等学校

課題・目標
学校での勉強と自分の将来の仕事をつなげるためのキャリア教育。

解決策
未来の職業を考え、その職業になるまでのキャリアプランを作りました。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

とちぎけんりつなすたくようこうとうがっこう
栃木県立那須拓陽高等学校



▶受賞歴

だい かい きょういく
第3回SDGsイノベーション教育サミット
ゆうしゅうしょう
優秀賞

組織・取り組みの説明

栃木県立那須拓陽高等学校(以下、那須拓陽高校)は、ゴール8・12に取り組んでいます。那須拓陽高校は、第3回SDGsイノベーション教育サミットで優秀賞を受賞しました。那須拓陽高校には、普通科、家庭系学科、農業系学科があり、どの学科でもSDGsをテーマにした勉強ができるようになっています。普通科では、生徒たちが自分の将来の仕事について考えながらSDGsを学ぶ時間があります。家庭系学科では、ものを公平に取り引きする「フェアトレード」について学ぶため、インドネシアのカカオ豆から自分たちでチョコレートを体験を行いました。そして、食べものを無駄にしないようにすることや、食品ロスを減らす取り組みである「フードバンク」の活動にも参加しました。生徒たちは、近くのまちの問題について考え、学んだことを実際に行動に移し、より良い学校やまちをつくるために活動を行っています。

R
おかやまけんりつたまのこうとうがっこう
岡山県立玉野高等学校

課題・目標
生徒が自発的に行動を起こすようになるカリキュラムの導入。

解決策
カードゲームX(クロス)を体験した生徒がストローを題材にした探究教材開発等に取り組みました。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

おかやまけんりつたまのこうとうがっこう
岡山県立玉野高等学校



▶受賞歴

だい かい きょういく
第3回SDGsイノベーション教育サミット
さいゆうしょう
最優秀賞

組織・取り組みの説明

岡山県立玉野高等学校(以下、玉野高校)は、ゴール4・8に取り組んでいます。玉野高校は、第3回SDGsイノベーション教育サミットで最優秀賞を受賞しました。玉野高校では、SDGsについて学べるカードゲームでSDGsを楽しく学んでいます。生徒たちは、自分で問題を見つけて探究学習や研究活動に取り組んでいます。たとえば、土に含まれている窒素が多すぎると環境悪化につながってしまうという問題に対し、新しい方法で小麦を育て、その問題を解決しようと取り組みました。そして、その活動について、岡山県知事や教育長、地元の会社の社長に発表しました。また、プラスチックごみの問題にも着目し、中でもなぜストローが環境に悪いと言われているのか疑問を持ち、調べ、地元の会社と一緒にストローをテーマにした新しい教材を作りました。そのほかにも、夏休みには、小学生やそのお父さんお母さんを対象に、SDGsや科学を楽しく学べるイベントを開きました。さらに、市のスポーツ施設を使って、SDGsとスポーツを組み合わせたワークショップも行いました。玉野高校では、学びながら楽しくみんなで問題を解決していこうとする活動に取り組んでいます。

SR

コマニー株式会社

避難所における女性のプライバシー。

10分程度で組み立てられる安心して着替えや授乳ができるスペースを確保できるブースを作りました。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

コマニー株式会社



▶受賞歴

**2018年 SDGsビジネスアワード
優秀賞**

組織・取り組みの説明

コマニー株式会社(以下、コマニー)は、ゴール5・13に取り組んでいます。コマニーは、2018年に行われたSDGsビジネスアワードで優秀賞を受賞しました。コマニーは空間を仕切るパーティションなどを作っている会社です。2018年に「コマニーSDGs宣言」を発表し、会社の目標や計画に沿ってSDGsの取り組みを進めることで、社会に貢献しています。日本では、地震や台風などの災害がたくさん起こります。そのときに、避難所でみんなが安全に過ごせるように、新しい商品を作りました。体育館などの避難所では、たくさんの方が一緒に過ごすため、トイレや着替えを安心してすることができず、ストレスがたまりやすい環境です。そこで、コマニーは避難所のプライベートブースを開発しました。このブースは、2人で工具を使わずに10分程度で作ることができます。このブースは、災害のときだけでなく、静かな場所で勉強したいときなど、普段から使うことができます。コマニーは災害が起こったときでも、みんなが安心して過ごせる場所を作りたいと考えています。そして、このような取り組みを通して、避難所での問題を減らし、みんなが過ごしやすい環境づくりに取り組んでいます。

SR

**特定非営利活動法人
エイズ孤児支援NGO・PLAS**

エイズ孤児が取り残されてしまっている。

エイズを抱えるシングルマザー家庭を中心に生活向上支援、ライフプランニング支援を行っています。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

**特定非営利活動法人
エイズ孤児支援NGO・PLAS
[エヌジーオープラス]**



▶受賞歴

**第2回ジャパンSDGsアワード
SDGs副本部長(外務大臣)賞**

組織・取り組みの説明

特定非営利活動法人エイズ孤児支援NGO・PLAS(以下、NGO・PLAS)は、ゴール1・3に取り組んでいます。NGO・PLASは、第2回ジャパンSDGsアワードでSDGs副本部長(外務大臣)賞を受賞しました。NGO・PLASは、「困っている子どもたちが、前向きに生きられるようにする」ことを目指しています。アフリカのウガンダやケニアで、シングルマザーの家庭を助けています。ウガンダでは、お母さんたちが自分の力で安定した収入を得るための方法として、新しいビジネスを始めるためのサポートをしています。ケニアでは、HIV/エイズで困っている子どもたちに、これからの人生の計画を立てる方法を教えています。このようにNGO・PLASは、ものやお金による支援だけではなく、困っている家族たちが自分たちの力で前に進めるようなサポートをしています。

UR
かぶしきがいしゃ リクシル
株式会社 LIXIL
約17億人もの人々が安全で衛生的なトイレを使用できていない。
国際機関やNGOとパートナーシップを組み、途上国に安価で高品質なトイレを提供しています。

組織の名前

組織・取り組みの詳細

かぶしきがいしゃ
株式会社LIXIL
[リクシル]



▶受賞歴

第2回ジャパンSDGsアワード
SDGs副本部長(外務大臣)賞

組織・取り組みの説明

株式会社LIXIL(以下、LIXIL)は、ゴール6・17に取り組んでいます。LIXILは第2回ジャパンSDGsアワードでSDGs副本部長(外務大臣)賞を受賞しました。LIXILは、世界中の人たちに安全で衛生的なトイレを使ってもらうため、安くて高品質なトイレを開発しました。そして、国際的な組織やNGOなどの団体と協力して、さまざまな国で販売や設置をしています。LIXILの「みんなにキレイをプロジェクト」という活動は、私たちがLIXILの製品を1台買うと、1ドルが寄付される仕組みで、主にケニアの学校への安全で衛生的なトイレの設置や衛生教育など、衛生環境を良くすることをめざす取り組みに活用されています。LIXILは、これまで45の国で、4,500万人の人たちの衛生環境が良くなったとされたと発表しました(2023年4月時点)。2025年までに1億人の人々の衛生環境の改善を通じて生活の質の向上に貢献することを目指しています。
※絆カードに掲載している数値は2022年までのものです。最新の情報はWebサイトを確認ください。

UR
ひろしま ながさき おきなわ
広島・長崎・沖縄
平和と公正をすべての人に。
悲惨な戦争の体験を元に、平和の尊さを発信し続けています。

組織の名前

ひろしま ながさき おきなわ
広島、長崎、沖縄

▶受賞歴

組織・取り組みの説明

広島、長崎、沖縄は、ゴール16に取り組んでいます。この3つの場所は、戦争の被害が大きかった場所です。広島と長崎では、戦争で大きな原子爆弾が落とされて、多くの人々が亡くなりました。これを忘れないために、今もそのときのものを展示したり、若い世代に語り継いだりして、戦争を経験していない世代の人たちや外国の人たちに「戦争は悲しいことだから、もうしないように。」と伝えていきます。広島は、これ以上原子爆弾を作らないように訴え続けています。長崎では、高校生たちが「もう戦争はいやだ!」という気持ちを書いた紙をたくさん集めて、国連に届けています。ほかにも、多くの人たちが平和を大切にするための活動をしています。沖縄は、アメリカ軍基地がたくさんあるため、まちづくりや生活が難しくなっているところもあります。少しでもその基地を減らしてほしいと、日本政府やアメリカ政府にお願いしています。



組織の名前

組織・取り組みの詳細

ニッセイアセットマネジメント株式会社

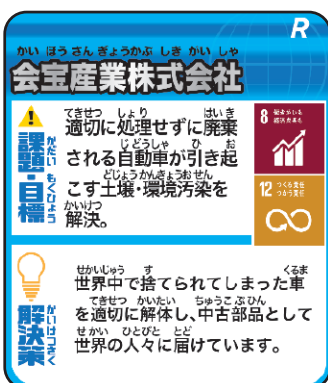


▶受賞歴

組織・取り組みの説明

ニッセイアセットマネジメント株式会社(以下、ニッセイアセット)は、ゴール8・9に取り組んでいます。ニッセイアセットでは、企業に対して環境にやさしい取り組みや社会に役立つ取り組みを進めていくよう働きかけたり、そういった取り組みを行っている企業に投資することで、みんなの未来をより良くする活動をしています。このように、環境や社会に良い取り組みをしている企業に投資し、長期的に利益を得ることができる投資をESG投資※といい、ニッセイアセットではこの動きを加速させています。ESG投資によって、資産(お金)を増やしたいお客様の力になるだけでなく、より良い社会をつくるための企業を応援することができ、これからの豊かな社会づくりに貢献します。

※ESG投資…E=Environment(環境)、S=Social(社会)、G=corporate Governance(コーポレートガバナンス)を意識した投資方法



組織の名前

組織・取り組みの詳細

会宝産業株式会社



▶受賞歴

第2回ジャパンSDGsアワード SDGs副本部長(外務大臣)賞

組織・取り組みの説明

会宝産業株式会社(以下、会宝産業)は、ゴール8・12に取り組んでいます。第2回ジャパンSDGsアワードでSDGs副本部長(外務大臣)賞を受賞しました。会宝産業は、自動車リサイクルをしている会社です。日本で買い取った古い自動車を解体して中古部品を取り出し、それらを世界中に販売しています。それだけでなく、売れない部品は加工して椅子やバッグなどを作り、再利用することで循環型社会の実現にも貢献しています。会宝産業は、国連やブラジル、インド、マレーシア、ケニアの政府と協力し、現地の人々に自動車リサイクルの方法を教えたり、リサイクル工場を作る手助けをしたりしています。そのおかげで、現地にもリサイクル工場ができ、捨てられた車から部品を取り出して販売する仕組みが生まれてきています。工場ができると、そこで働く人も必要になるため、貧困に悩む人や若い人たちに仕事を教えて、その人たちが働けるようにすることも目指しています。こうした取り組みが世界中に広がると、これまで起きていたごみや排気ガスの環境問題を解決することができ、また、働く場所も生まれ、国全体の経済・環境・社会が豊かになります。

【文部科学省 令和5(2023)年度】SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業

発行年
2024年

発行者
金沢工業大学
SDGs推進センター

お問い合わせ先
金沢工業大学
SDGs推進センター

お問い合わせフォーム
<https://www.kanazawa-it.ac.jp/sdgs/contact/>